

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四番地
印刷所 阿田 弘成
印刷所 加藤 活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四番地
電話 一四七五
發行所 磐城時報社
一部金五圓 一月金五十圓 三月金一百五十圓
廣告料一行四字金五圓 五字金七圓 六字金九圓 七字金十一圓 八字金十三圓 九字金十五圓 十字金十七圓 十一字金十九圓 十二字金二十一圓 十三字金二十三圓 十四字金二十五圓 十五字金二十七圓 十六字金二十九圓 十七字金三十一圓 十八字金三十三圓 十九字金三十五圓 二十字金三十七圓 二十一字金三十九圓 二十二字金四十一圓 二十三字金四十三圓 二十四字金四十五圓 二十五字金四十七圓 二十六字金四十九圓 二十七字金五十一圓 二十八字金五十三圓 二十九字金五十五圓 三十字金五十七圓

御親閲陪觀の

光榮に浴す人々 石城郡で十二名

三日宮城前大廣場に於て行はせられる全國青年團その他の御親陪觀者並に特別陪觀者は三十一日決定發表されたが石城郡内の人々左の如くである。

▲納稅優良者表彰

平稅務署では來る三日午前九時から石城郡川部村小學校で小川橋本納稅組合が十ヶ年間縣稅國稅納付優良の爲表彰を行ふ由で石川署長臨席する。

▲水産加工品 品評會開催

石城郡水産會では來る十二月二日より三日間小名濱町小學校内で水産加工品々評會を開き小名濱町第一青年團長桑島正芳、第二青年團長戸田與助、内郷青年團長山崎廣元、鹿島青年團團長四家一與、鹿島小學校長鶴沼盛喜、二百名の出品ある等。

東北、北海道が聯合して

海洋調査の協議會

五日から小名濱町に開催

第十五回一道六縣聯合の海洋調査協議會は來る五日から三日間小名濱町縣立水産試験場に開催道縣水産試験場長と調査所長二十余名が會合するが、各縣の提出議案左の如し。

- 一、海洋調査要報掲載の實地觀測表氣象要素中にこの地方における最多風向の一項を追加
- 二、海上觀測報告様式中海水温度並に比重欄追加の件(以上北海道提出)
- 三、海洋觀測事項中霧及び雲形追加の件(青森縣提出)
- 四、現在施行の海洋調査の資料に編入する事となつた。

三日平町で舉行する 陸上競技と庭球大會

双方何れも盛會を豫想さる

常磐地方に於ける代表炭礦磐城入山、古河の三炭礦聯合体育競技大會は三日午前九時から平町警城中學校グラウンドで舉行さるが、當日の競技種目は

- ▲百米、二百米、四百米、八百米、千五百米、五千米、八千米、一五千米、二五千米、五千米、八千米、一五千米、二五千米
- ▲砲丸投、走高飛、走巾跳
- ▲女子百米、四百米リレー

明日二日電動力公休、三日明治節に付き本紙定期休刊仕候

社告

磐城時報社

聯合總集會

平町に開催

濱三郡聯合教育會では一日午前十一時半平町小學校講堂に聯合總會を開き、教育勸語煥發四十一年記念事業として教育功勞者の表彰式を行ふ、表彰者は左の三氏である、これと同時に石城教育會でも左記七氏を表彰、尙午後一時から國學院大學教授松永材氏の有益なる講演があり併せてこの二日間には濱三郡の小學校兒童圖書成績品の展覽會もある。

養成する事に努力した

小名濱校長西山直三郎氏

石城郡小名濱町小學校長西山直三郎氏は十一月二日東京市日比谷公會堂に於ける令旨奉戴十周年記念祝賀式に於て文部大臣が「青年教育の功勞者として表彰される事既報の如くであるが、西山校長を小名濱校に訪ふと同

理屈よりは腕の人を

養成する事に努力した
小名濱校長西山直三郎氏

石城郡小名濱町小學校長西山直三郎氏は「表彰されるほどのこともないが、私は職務につかぬといふに過ぎないのです、私の口からこんなことをいふのも變です」と前提して語る

勿來町小學校在職當時は青年團を組織し地方の産業状態から青年に専ら農業補習をやつ

たが小名濱校に着任して産業状態を調査するに一ヶ年の農産額十三萬圓に對し水産額も八十萬圓の巨額に達してゐるので實業補習教育の主力を水産業に置き理屈よりは腕の人を造ることを主眼として教育してゐます、一例を申しますと水産實習地を設置するとかか生徒の加工製作した海産物の品評會を開催するとかあるのは漁夫のため通信教育をするといつたやうなものです。

婦選同盟演說會

東京婦選獲得同盟會で卅一日午後六時から石城郡植田町菊田館校長の奔走で原町競馬場内に設置する事となり、今回同校生徒の内郷村昭和館で婦人參政權問題の演說會を開く、同會長西村靜子以下數名婦士が熱辯を揮ふ。

十五年の漸く竣工して遷宮式

石城郡小名濱町字西町諏訪神社村稻作競作品評會を來る四日同は十四年前に社殿改築を計劃し、店內に開催するが、出品物は十俵以上の收穫、その他經濟農業を主としたもので、同店には毎年經濟方面と増收方法に力を入れて催したものである。

▲體育デーの催し
縣立相馬農藝學校では十一月三日の體育デーに全生徒の浪江、原町間二十ヶ所驛傳競走を行ふ

▲入山菊花品評會
石城郡入山炭礦協會主催の菊花品評會は三十日より五日迄一週間入山自治會館に於て開催。

相馬支局通信
▲競作品評會
相馬郡花品評會は三十日より五日迄一週間入山自治會館に於て開催。

新聞配達 集金と横領

仙臺市本橋町新聞販賣業長野琢磨方配達人貞藏一男(十七)假名は二十九日新聞集金代二十圓を拐帶したまゝ逃走し三十一日夜平驛に下車した處を驛前鈴木巡査に捕はれた。

野球場設置

原町地方の野球場が高まつて來たものゝ適當のグラウンドがないので困まつてゐたが、佐藤農藝局長の奔走で原町競馬場内に設置する事となり、今回同校生徒の作業奉仕で着手した。近く各チームの爭奪戦を觀られることが連れ待たれてゐる。

十五年の漸く竣工して遷宮式

石城郡小名濱町字西町諏訪神社村稻作競作品評會を來る四日同は十四年前に社殿改築を計劃し、店內に開催するが、出品物は十俵以上の收穫、その他經濟農業を主としたもので、同店には毎年經濟方面と増收方法に力を入れて催したものである。

體育デーの催し

縣立相馬農藝學校では十一月三日の體育デーに全生徒の浪江、原町間二十ヶ所驛傳競走を行ふ

入山菊花品評會

石城郡入山炭礦協會主催の菊花品評會は三十日より五日迄一週間入山自治會館に於て開催。

相馬支局通信

相馬の原野で 旅團對抗演習

第二師團機動演習前の旅團對抗演習は愈々三十日南軍の退却軍は中村町を通過したるが、三十日攻勢に移り同日夕刻北軍と一大遭遇戦となり、中村町を狭んで兩軍對陣徹夜警戒したるが一日拂曉南軍の精銳突撃戦に移り北軍を追撃した、十有七年以來始めての演習の事として一般觀戰者非常に多く、中村町は更に附近一帯大混雑を極めた。

渡邊政吉君を憶ふ (下) 飯村 閑舟 都會生活の繁忙から

言々句々讀了後肺腑に浸透し思はず沈思冥想に耽つた。早晩の快癒を祈りつゝ。 當時私に甘いた彼... 病氣に倒れ身病床に呻

感傷の秋の夜、南國に潮風を受けつゝ温かき看護婦さんや近侍に護られ、うら若き渡邊政吉君の臨終を見た。

私に偶然、此の日、其の病院の門の前に佇み幾度か訪問しやうかとして躊躇逡巡したるが、遂々訪問する事の理由を許されぬ、断念し此の日の死をいひ、断念し此の訪を期して途中二、三の友人を訪問し、寛瀾な語り、初めを費して歸宅し翌朝、初めてそれを知つて、淋しい遺骸に絶したるに於いて一層愁冷を感じた。あゝ、淋しい遺骸に絶したるに於いて一層愁冷を感じた。あゝ、淋しい遺骸に絶したるに於いて一層愁冷を感じた。

平新川町十九 木村病院 院長 木村寅次郎 女醫 木村コウ 電話一六四

無城 會商 電話一六四

二葉印刷所 平町仲町・電話一九三番

ロクマク専門薬 許官助膜湯 定價 一週間貳圓

嚴冬征服の王者 ストーブはフクロク

平看護婦會 阿部石炭商店 電話二三七番

皆様の 昭和タクシー 此際御得意様本位に 貸切料金の値下斷行

カキ貝御料理 仕出し 一の井 電話一六七番

美佐男御召 三井呉服店 電話一六七番